



共有体験の積み重ねが自己肯定感・自己有用感を育てる

校長 細井 鏡子

9月の学校公開には、多くの保護者・地域の皆様に参加していただき、ありがとうございました。参観後のアンケートには、こどもたちの成長した姿や学校の取り組み、教員の指導などについて、称賛の言葉をたくさんいただき教職員の励みになりました。いただきましたご意見につきましては、今後の教育活動にいかしていきたいと思ひます。

さて、予測困難といわれる社会、虐待、いじめなど、こどもに関する報道を耳にするたびに、目の前のこどもが本当に幸せに過ごしているか、将来どのような人に育つか、みんなで考えながら子育てをしていかなければならない時代であることを痛感します。

こどもたちが夢や希望をもって幸せな未来を創造するには、こどもたちの自己肯定感・自己有用感を高めることが非常に大切です。そのためには、親や家族をはじめ、地域の皆様・学校の教職員がこどもたちに向けて、あふれるような愛情を注ぐことです。「そんなの、言われなくても注いでいます。」という声が聞こえてくるようですが、その愛がこどもの心に届いていますか？こどもの将来を見据えた愛になっていますか？愛するということは、こどものほしいものを買い与えたり、こどものいうとおりにしてあげたりすることではありません。心でしっかりつながることです。うれしいことがあったときには共感し、困難に出会ったときにはそっと手を差し出す…。自分の背中をしっかり支えてくれる大きな手を感じたとき、こどもは健やかに成長していきます。

こどもは、受け入れられていると感じ取れると、とても安心します。

自己肯定感・自己有用感を高めるには、共有体験の積み重ねが効果的であるといわれています。会話の中で、右記の「共感言葉 あいうえお」を、ぜひ、実践してみてください。



- ㊦ つ、そういうことか
- ㊧ いこと言うねえ
- ㊨ ーん、なるほど
- ㊩ つ、どうのこと
- ㊪ っと、そういう考えがあったか

～学芸会～

今年度は2年に1度の学芸会です。本番は11月6・7日ですが、今から学芸会本番に向けて一人一人が主役になり、みんなで協力してよいものをつくらうと、一生懸命に練習に取り組んでいます。学芸会を通して、自分や友達のように気づき、今後の学校生活に生かしていけるように指導しています。今年度は、開校150周年記念の学芸会でもあり、台詞や背景、小道具の中に、お祝いの気持ちや北糀谷のキャラクターが隠れているかもしれません。見つけてみてください。

プログラムなどのご案内は、10月中旬に配布いたします。

～通知表について～

10月9日(金)に通知表を児童に配布いたします。4月から9月までの児童の様子を記載しておりますので、ぜひご家庭で一緒にご覧いただき、児童を励ましていただければと思います。配布した通知表は何も抜き取らずにそのまま学校にお返しください。10月13日(火)に各担任に提出するようお願いいたします。

～「うちどく」について～

学校図書館では、本を読みたい、本が楽しいと思える環境づくりにつとめています。図書委員会を中心に、「おすすめのコーナー」を作成し、図書室に行きたくするような企画を考えて盛り上げています。



今年度も10月を読書月間に設定し、「家読」の活動をいたします。詳しくはお便りをご覧ください。ぜひお子さんと楽しんで取り組んでください。よろしく願いいたします。

～体育健康教育地区公開講座～

10月7日(水)、体育・健康教育授業地区公開講座「コーディネーショントレーニング」を実施します。今年度も日本コーディネーショントレーニング協会の毛利かなで先生をお招きしてご指導いただきます。

全年齢対象に2学年ごとに体育館で実施いたします。保護者の皆さんも参加できます。詳しくは、9月に別途配布しました案内をご覧ください。

『早寝早起き朝ごはん』について

10月は「早寝・早起き・朝ごはん月間」です。こどもたちが健やかに成長するためには、適切な運動・バランスのとれた食事・十分な休養・睡眠が大切です。本校では、10月5日(月)から9日(金)を強化月間として、アンケートを実施します。一日の生活リズムを「早寝・早起き・朝ごはん」で整え、こどもたちの成長や家族の健康についても一度考えてみてくださるようお願いいたします。